



お菓子を食べたら 酔っぱらった!?

事例 1

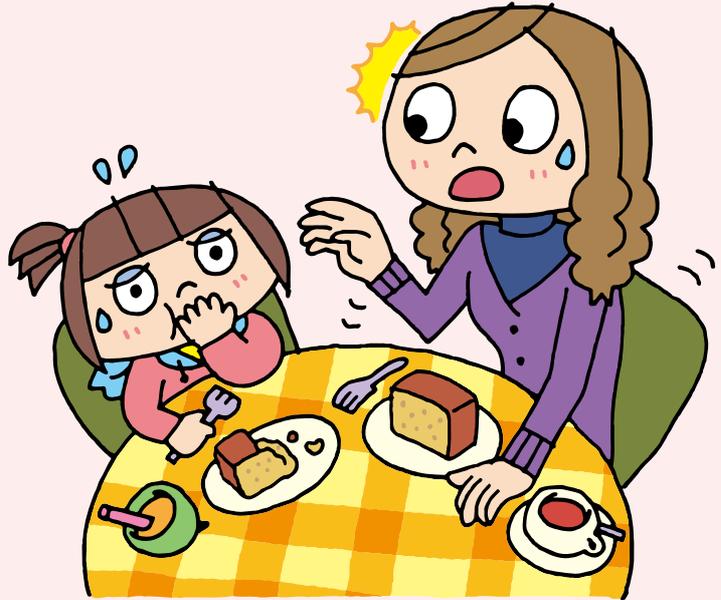
洋菓子店で購入したパウンドケーキを食べた娘が嘔吐した。ブレンダーが使われていたが、購入時にアルコール入りという説明はなかった。

(当事者：7歳 女児)

事例 2

お土産でもらったゼリーを食べた後、子どもの顔が赤くなり、息が酒臭くなって酔っ払ったような状態になった。

(当事者：1歳、3歳)



ひとことアドバイス

- お菓子里にアルコールが入っていると思わずに子どもに与えてしまい、子どもの具合が悪くなったという報告が寄せられています。
- 菓子類には洋酒などが使われているものがあります。飲料ではアルコールが1%以上含まれているものには「酒類」の表示が義務付けられていますが、菓子類にはありません。店頭で確認したり、原材料の表示をよく見たりするなど注意が必要です。
- 事例のほかにも、液体の色や容器が類似しているため、清涼飲料と間違えてアルコール飲料を子どもが飲んでしまうケースもあります。
- 子どもの場合、アルコールの摂取量によっては深刻な事故につながるおそれがあります。子どもの飲食物には日ごろから注意しましょう。

